

2. 再電照による開花調節に適する夏秋小ギク品種（技術）			
[要約]			
夏秋小ギク品種のうち、‘糸子’が電照・盆出し作型での再電照による開花調節に適する。			
研究室名	野菜・花研究室	連絡先	0869-55-0277

[背景・ねらい]

夏秋小ギク品種の中には再電照によって奇形が発生するものがある。このため、電照・盆出し作型において、再電照による開花抑制効果が高く、かつ奇形の発生が少ない品種を選定する。

[成果の内容・特徴]

1. 再電照による開花抑制効果が高かった品種は、糸子、千代、ほたる及び暁の星であった（表1、表2）。
2. 再電照区の奇形率が低い品種は、菊丸、千本桜及び糸子であった（表1、表2）。

以上の結果、夏秋小ギク品種のうち、‘糸子’が電照・盆出し作型での再電照による開花調節に適する。

[成果の活用面・留意点]

1. 本試験は、発蕾後の再電照の結果であるため、キクの生育段階によっては結果が異なる場合がある。

[具体的データ]

表1 再電照と夏秋小ギクの開花日及び奇形率

品種	再電照 の有無	再電照 開始時の 発蕾率 (%)	平均 開花日 (月日)	同左対 無電照 区差	奇形 率a) (%)	うち頂花 ブラインド 率 (%)
ほたる	有	3	8月12日	7.6	29	29
	無	—	8月4日	—	0	0
風鈴	有	14	8月19日	3.9	13	13
	無	—	8月15日	—	25	25
菊丸	有	33	8月8日	4.1	0	0
	無	—	8月4日	—	0	0
糸子	有	38	8月11日	5.6	8	8
	無	—	8月5日	—	0	0
千代	有	74	8月7日	9.2	12	6
	無	—	7月29日	—	0	0
千本桜	有	97	7月27日	2.5	0	0
	無	—	7月25日	—	6	0
いろどり	有	100	7月29日	-0.7	14	7
	無	—	7月30日	—	0	0
暁の星	有	100	8月11日	5.2	69	69
	無	—	8月6日	—	31	31

注) 4月27日定植、5月7日摘心。定植時から6月11日まで深夜6時間の暗期中断。再電照は6月26日から10日間、深夜3時間の暗期中断で行った。

a) 頂花、2番花、3番花のいずれかがブラインドをおこしたものの。

表2 再電照による開花抑制効果と再電照区の奇形率による品種の分類

奇形率	開花抑制程度		
	2日未満	5日未満	5日以上
10%以下		菊丸 千本桜	糸子
10～20%	いろどり	風鈴	千代
20%以上			ほたる 暁の星

[その他]

試験研究課題・事業名：盆・彼岸ピッタリ出荷による高付加価値小ギク生産のための精密開花調節法の確立

予算区分：県単

研究期間：平成11～13年度

関連情報等：なし